

仙台市 連合町内会長会だより

平成 12 年 3 月

第 11 号

発 行
仙台市連合町内会長会
題字は藤井仙台市長

ごあいさつ



仙台市長

藤井

黎

ありがとうございました。

仙台市連合町内会長会の皆様には、本市の市政運営に対し、日頃から格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は待望の人口百万人を達成し、名実ともに百万都市としての新たなスタートを切りました。皆様には、「アクセス30分構想」における交通実験、「100万人のごみ減量大作戦」「百年の杜づくり」等々において多く大なるご協力をいただき、まことに

本年は、西暦二千年という歴史的な節目の年であり、本市といたしましても「二十一世紀都市・仙台」の構築に向けて、引き続き市民との協働を基調として、行財政改革の推進に努めるとともに、すべての市民が、障害の有無や年齢、性別にかかわらず、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう施策の充実を図つてしまりますので、なお一層のご協力をお願いいたします。

最後に、会の益々の発展と、会員の皆様のご健康をお祈りいたします。

ごあいさつといたします。

ごあいさつ



会

長
山
田
仁
策

ろしくお願い申し上げます。

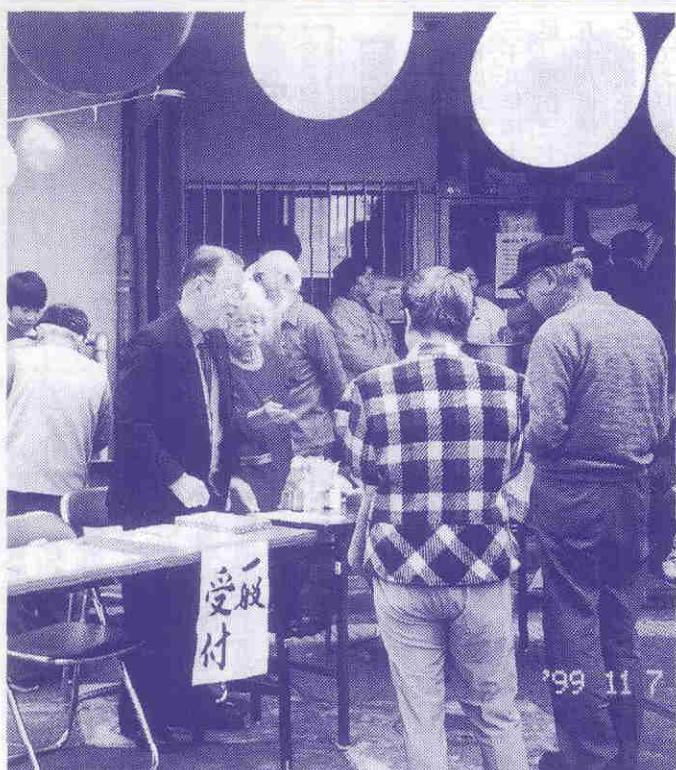
さて、昨年は二十一世紀を目前にして仙台市が名実共に百万都市となり、今後とも街づくりに対する町内会の果たす役割が、ますます大きくなるものと考えております。

平成十二年「仙台市連合町内会長会だより第十一号」を発刊するにあたり皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

昨年六月の総会において、会長という大役をおおせつかり只今その重責に身の縮む思いでござります。

各区町内会長の皆様の暖かいご支援とご理解により、この重責を果たしてまいりたいと存じますので、よ





青葉区 町内会連合会

連合町内会 単位町内会 活動紹介

中でも加入町内会数は多く、大小合わせて三十九を数える大所帯です。それぞれの生い立ち、歴史がある町内会を一つにまとめ上げるのに腐心するところですが、各町内会との連携強化が連合会の役割であると考え、各町内会の事業の推進に全面的に支援協力しております。

また、町内会連合団体との総合調整、事業推進の為に、指導的役割を担っており、「地域の安心・安全の街 荒巻」をモットーに連合会として努力しております。

荒巻コミセン 秋まつり

当連合会は仙山線北仙台駅から梅田川に沿うように西に位置し、南は仙山線、北は水の森の丘陵地帯に挟まれた中山地区までの細長い地域で活動しております。

平成七年に荒巻地区町内会連合会三十周年記念事業として「コミ

全の街 荒巻」をモットーに連合会として努力しております。

荒巻コミセン 秋まつり

当連合会は仙山線北仙台駅から梅田川に沿うように西に位置し、南は仙山線、北は水の森の丘陵地帯に挟まれた中山地区までの細長い地域で活動しております。

平成七年に荒巻地区町内会連合会三十周年記念事業として「コミ

**仙台市（青葉区）
との地域懇談会**

地域懇談会は当連合会の伝統的事業であり、第一回目は昭和四十年に連合会の前身である「荒巻学区振興協議会」が「市長を囲む地域懇談会」を開催、以来、現在まで青葉区区長を初め関係各課との懇談会を開催しており、今年も十一月十二日に開催されました。当

地域の特殊性もあつてか、交通関係の要望が重点的に検討されました。懇談会は、より住みよいまちづくりのために町内会と市当局との掛け橋となり、地域に不可欠なものとなっています。

唄つてストレス解消

私達の団地では八年前からカラオケ教室を始め、お年寄りの会員が三十五名で、平均年齢が七十五歳となっています。毎週一回南吉成集会所で大きな声を上げて唄い、ストレス解消になっております。

す。

また、時々旅行に出かけ旅館でカラオケ大会等をやつて大いにハッスルしております。一ヶ月の会費が千円と、安さも好評の原因と思つ

ユニティまつり」を開催、荒巻地区には地域全体としての催しはなく、このまつりが荒巻地域と、その周辺住民の交流と連帶を高めております。今年も、望ましい地域社会をつくる事を目的に十一月七日コミュニティセンターを会場に「秋まつり」を開催、日頃あまり顔を合わせる事の少ない町内の人々と、地区の垣根を越えて老若男女が集い、交流を深めました。

また、子供達の為にと忘れられないある綿あめ、金魚すくい等も加えられ、子供達の歓声と町内会の交流で満喫した一日でした。

活発な地域交流へ

私達も他の団地同様色々な文化を持った人達が集まつてきております。

一番苦労しましたのは、どんな交流行事をやつたら多くの人々が参加してくれるのかということでした。

そこで、私共では夏祭りやコンサート、閉幕大会などが良いのではないかと始めた結果、毎回、多くの住民の参加を得ております。また、毎月一回、朝七時から八時まで公園清掃をやっており、住民相互のコミュニケーションづくりに大変良い活動となつております。

唄つてストレス解消

す。

また、時々旅行に出かけ旅館でカラオケ大会等をやつて大いにハッスルしております。一ヶ月の会費が千円と、安さも好評の原因と思つ

【吉成町内会】

吉成町内会が発足したのは昭和五十四年で、当時は伊勢吉成町内会といいました。

昭和六十二年に、総工費一億七千万円で、地域活動の拠点となる南吉成集会所が完成し、吉成および中央吉成の両町内会の方々の交流の場となっています。





宮城野区

連合町内会 単位町内会活動紹介

【榴岡地区町内会連合会】

榴岡地区内動向

榴岡地区町内会連合会は、昭和三十八年に十六の単位町内会で発足、現在三十の町内会（七千五百五十八世帯）で構成、他の諸団体と連携を密にしながら活動を推進しております。当地区は、歴史を通じ市民に愛されて参りました「しだれ桜」の名所榴岡公園、学問の神として崇敬されます榴岡天満宮があり、毎年春の訪れとともに梅、桜、つつじが次々と咲き誇り、市民を楽しませてくれる憩いの場を有する恵まれた地区でもあります。それだけに地区住民の神社、公園

活動が始まります。連合会恒例の事業、地区内合同防災訓練、天満宮大祭への協力、学区民大運動会、宮城野区民まつり、榴岡市民センター祭りへの協力、榴岡地区町内会社協だよりの発刊、合同新年会等を中心計画をたて、総会に譲り承認後スタートの予定ですが、来年十三年は、国体開催県、今年はその準備の年であります。既に国体区民の会「オールみやぎ」の支援団体が結成され、活動内容もほぼ決定、その支援要請があるものと思われます。忙しい一年になりますが、地区内諸団体と連絡をとり合いながらその対応に努めて参る所存でございます。

【案内町内会】
五十年を迎えて
次の課題をさぐる

「住んでよかつた案内」作りの今後十年を、其に生きる福祉の時代」と位置づけ、地区社協、町内会、民生委員、ボランティア、住戸の住宅が建ち、私たち案内町内会が誕生して今年で五十年になり



に対する愛着思い入れも深く、榴岡寿会（老人クラブ）では昭和二十八年以来毎年桜やつづじの贈植樹をつづけ、名所の保持に貢献されています。

現在当地域内では、この三月十日仙石線地下化工事が完成し営業が開始されました。これに伴い仙台駅東口に連動する、駅東第二区画整理事業も完成に向けてより加速されるものと思われます。

間もなく平成十二年度の新規活動が始まります。連合会恒例の事業、地区内合同防災訓練、天満宮大祭への協力、学区民大運動会、宮城野区民まつり、榴岡市民センター祭りへの協力、榴岡地区町内会社協だよりの発刊、合同新年会等を中心計画をたて、総会に譲り承認後スタートの予定ですが、来年十三年は、国体開催県、今年はその準備の年であります。既に国体区民の会「オールみやぎ」の支援団体が結成され、活動内容もほぼ決定、その支援要請があるものと思われます。忙しい一年になりますが、地区内諸団体と連絡をとり合いながらその対応に努めて参る所存でございます。

【岩切地区町内会連合会】

初代会長に当時若干二十五歳の錦戸弦一氏を擁して、戦後のない尽くしのひどい暮らしの中での町内会発足と聞いております。それから半世紀、案内の様変わりようは目を見張るばかりです。兎小屋のような四軒長屋、足首まで入るぬかるみの道路、牛のヨダレのようにでる水道、螢の光より暗い街路灯等々、今から思えば隔世の感があります。

これらの環境整備が一応整った今、案内町内会はどこを、何を目ざして走ればよいのか。

町内には四百九十五世帯、人口約一千五百人、うち六十五歳以上の高齢者は三百四人、人口の二十%にあたるまさに超高齢化町内会です。従って、今後の生活に不安や悩みを抱えた家庭が増えてきています。案内には、「向こう三軒両隣まし」がまだ残っています。日常生活で困っている時のお手伝いをしたり相談に応じたりすることで、暖かく見守り、不孝な事故を未然に防ぐ活動ができるシステムづくりと実行がこれから町内会の役割かと思います。

「消費は美德の時代」は過ぎ、これからは「モノ」ではなくて「人」であり、心の豊さと潤いがある暮しが求められる時代と言われている。少子高齢化社会を迎える町内会の取組む課題は質的にも変化し実際に多岐に亘るものと予想される。みんなが明るい夢と希望をもつて暮らせる地域づくりのため行政とともに更に連携を密にし取組んでゆきたいものと考へておる。

七郷地区は、四号線バイパスから荒浜海岸まで二十五町内会で構成されており、正月は町内会や各団体の役員が市民センターに集まり、新年祝賀会を開き親睦を図っています。今年は二〇〇〇年ということで二百二十名の方が参加されました。十一月の市民まつりは、各団体から実行委員二百名を推薦して頂き、部会、全委員会と企画、準備を致します。

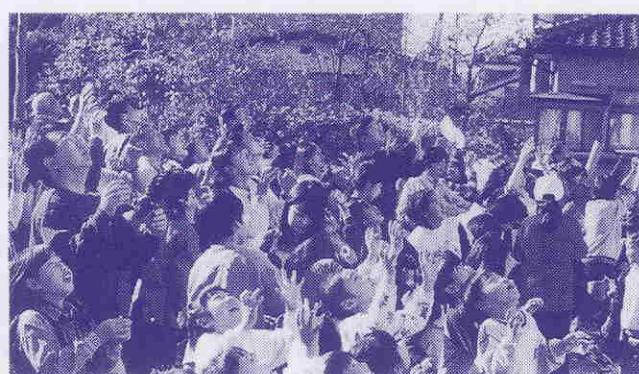
昨年は、十一月十三、十四日と二日間に亘り開催されましたが、準備の段階でもコミュニケーションの輪を広げる役割も果たして居ると思います。小・中学生のミニ駅伝には三十八チームが参加し、ママさんたちの演芸も体育館が満席となり、二回行われた餅まきも大人、子供入乱れて餅拾いに興じ、大勢の来場者にまつりを楽しんで頂きました。

また、地区内に特別養護ホーム、老人保健施設がありますので、周辺の問題を抱えている。

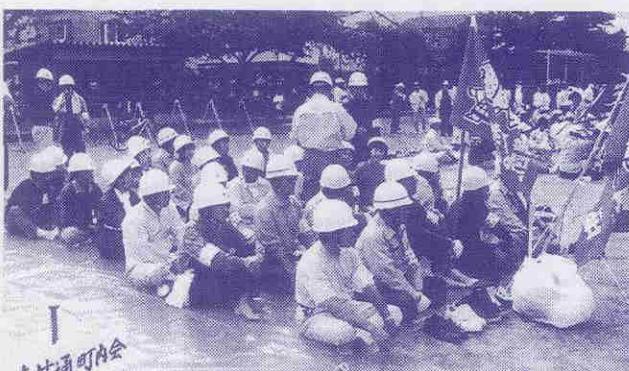
若林区

会内介紹活動

七郷地区 町内会連合会



連坊地区 町内会連合会



従つて、生活環境、地理的条件に差異のある町内会は行政的にも特有の問題を抱えており、対策に腐心している。

当地域には公立諸学校のほか大小の公園があり、災害時の避難場所には恵まれており、地区防災については各町内会で対策がとられ、毎年秋に合同の地区防災訓練を実施している。

又、昨年五月に「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」が施行されたので、これに呼応して、「連坊地区クリーンの日」を設け実施している。

終りに、各町内会独自の事業には、理解しあうという互助の精神で、連合会が成り立っていることは力強い。

二、手づくり公園のモデルとなつた町内の古い公園は、地域の声を反映した改修工事によつて明るい近代的公園に変りました。

三、荒れ放題の高砂堀周辺の環境は、明るい外灯やベンチのあるカラーラー歩道（通学路）となつて人々から喜ばれています。

四、安心して歩ける街をめざし昨年から実施中のコミュニティゾーン形成事業は本年も継続中ですが、

白萩町町内会（会員四百世帯）は、陸奥国分尼寺のある宮城野住宅を中心に発展した地域で、四方を幹線道路に囲まれ、町の中央に交番所のある静かな住宅街の町内会ですが、最近の町内会の動きにについて、関係各位の協力のもと実施の内容も含め紹介させていただきます。

一、手づくり公園のモデルとなつた町内の古い公園は、地域の声を反映した改修工事によつて明るい近代的公園に変りました。

二、荒れ放題の高砂堀周辺の環境は、明るい外灯やベンチのあるカラーラー歩道（通学路）となつて人々から喜ばれています。

三、安心して歩ける街をめざし昨年から実施中のコミュニティゾーン形成事業は本年も継続中ですが、

五、町内会創立四十五周年の記念事業である集会所（平屋建、155、67坪）の新築工事は予定通り昨年十月に完成しました。

【白萩町町内会】

辺の町内会が集まり、消防署の指導などにより防災訓練等を実施し災害に備えています。

従つて、生活環境、地理的条件に差異のある町内会は行政的にも特有の問題を抱えており、対策に腐心している。

当地域には公立諸学校のほか大小の公園があり、災害時の避難場所には恵まれており、地区防災については各町内会で対策がとられ、毎年秋に合同の地区防災訓練を実施している。

又、昨年五月に「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」が施行されたので、これに呼応して、「連坊地区クリーンの日」を設け実施している。

終りに、各町内会独自の事業には、理解しあうという互助の精神で、連合会が成り立っていることは力強い。

二、手づくり公園のモデルとなつた町内の古い公園は、地域の声を反映した改修工事によつて明るい近代的公園に変りました。

三、荒れ放題の高砂堀周辺の環境は、明るい外灯やベンチのあるカラーラー歩道（通学路）となつて人々から喜ばれています。

四、安心して歩ける街をめざし昨年から実施中のコミュニティゾーン形成事業は本年も継続中ですが、

白萩町町内会（会員四百世帯）

は、陸奥国分尼寺のある宮城野住

宅を中心に発展した地域で、四方

を幹線道路に囲まれ、町の中央に

交番所のある静かな住宅街の町内

会ですが、最近の町内会の動きに

について、関係各位の協力のもと実

施の内容も含め紹介させていただ

きます。

一、手づくり公園のモデルとなつ

た町内の古い公園は、地域の声を

反映した改修工事によつて明るい

近代的公園に変りました。

二、荒れ放題の高砂堀周辺の環境

は、明るい外灯やベンチのあるカ

ラーラー歩道（通学路）となつて人々

から喜ばれています。

三、安心して歩ける街をめざし昨

年から実施中のコミュニティゾー

ン形成事業は本年も継続中ですが、

五、町内会創立四十五周年の記念

事業である集会所（平屋建、15

5、67坪）の新築工事は予定通り昨年十月に完成しました。

全国自治会連合会大会報告

長
会
山田仁策

平成十一年度の全国自治会連合会大会は、東京都の麹町会館を会場に平成十一年十一月五日午後一時三十分から開催されました。



ました。

当会の鈴木茂雄副会長もこれまでの功績が認められ栄えある表彰を受けられました。

引き続き全国自治連合会東京大会が開催されました。

初めに相川会長からのあいさつ、

次に東京都副知事等三名の方々から祝辞をいただき、続いて住民自治組織の発展向上に特に功績のあった全国四十四名の方々に対しての表彰が行われ、当会の佐藤二郎副会長・齊藤三郎庶務理事が表彰の栄に浴されました。

表彰の後、小渕総理大臣からのメッセージが披露され、続いて大会宣言案が提案され満場一致で採択されました。

大会の後、行政課吉田昭彦課長補佐から「地縁による団体

のこれまでの歩みと今後の課題について」と題しての研修講演が行わられ、午後四時三十分大会のすべてが終了いたしました。

当日は、大会の前に同会場において平成十一年度から新たに設けられた、地縁による団体功労者自治大臣感謝状贈呈式が行われました。

まず、保利耕輔自治大臣代理の平林鴻三統括政務次官が式辞を述べられ、続いて感謝状並びに記念品を全国三十名の方々に贈呈され



他都市視察研修報告

理事三郎
務藤
齊

をとつている
以上要点をしぶり報告にかえさせて頂きます。

今年度は、九月二十八、九日の

二日間人口約二十九万人の都市盛岡市を総勢二十四名で視察。以下

調査項目毎に紙面の都合もあり簡潔にまとめてみますと、先ず組織

については、市の連合会は仙台市同様専属職員二名を擁し事務局を

もっているが、地区連合会は名称を〇〇地区福祉推進会と言い連合

会とは言わない。町内会長の身分については任意団体の長であり仙台市と同様である。

市による育成事業としては、連合会表彰規程により役員の表彰を実施しているが、市独自の表彰で

はなく連合会長と連名で実施しているとのことであり、町内会長研修会は平成十一年度から年一回連合会主催で実施。

市からの助成事業中集会所建設については上限を設け助成を実施、掲示板設置の場合の補助制はなく、

全て市が設置、街路灯新設の場合

市連合町内会長会が平成十二年度からの事業として計画している

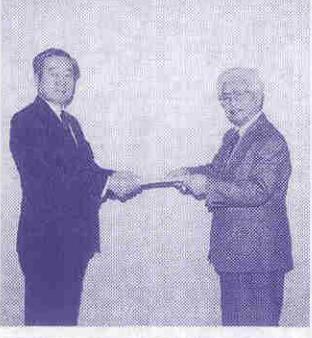
単位町内会への育成支援策について、昨年十一月二十二日仙台市役所秘書課応接室において山田会長

から加藤仙台市助役に要望書を提出し、支援と協力の要請を行いました。

これは、昨年六月市内全町内会長を対象に仙台市が実施したアンケート調査の結果、地域意識を持たない新しい住民層が年々増加し、

町内会への未加入・各種町内会行事等への非協力の問題や役員の高齢化、役員のなり手が少ないなど

の問題点が多くの会長さんから、市からの運営費補助については、市連合会と地区的連合会（福祉推進会）にはあるが単位町内会には一切ないとのこと。町内会活動に際しての災害補償制度については、



平成十二年度へ向けての課題

青葉区連協
会長 佐藤一雄宮城野区連協
会長 星茂若林区連協
会長 山田仁策太白区連協
会長 鈴木茂雄泉区連協
会長 鶩尾栄一郎

青葉区連合町内会長協議会は三十五連合町内会、五百二町内会で構成運営しており、市当局と常に連携のもと、住みよいまちづくりに取り組んでいるところであります。

昨年五月には仙台市の人口が百万人をこえ、名実ともに「百万都市仙台」として仙台の歴史のなかでも大きな節目が刻まれた記念すべき年でありました。

本年は、新たな千年紀を迎える二十世紀への橋渡しとなる記念すべき年でもあります。少子高齢化、地球規模での環境問題等、多くの課題を抱えながら時代は大きく変わろうとしておりました。青葉区連協としておりましましては、これまで以上に、地域行政が一緒になって多くの課題を克服してこそ、輝かしい二十一世紀都市仙台を実現できるものと思います。町内会をはじめ各種団体の活動は、その多くが会長さんははじめ役員の皆様の献身的なご努力により支えられております。

今後とも、地域の皆様のご協力をいたさながら、区連協活動を展開してまいりたいと考えております。

新しい千年紀の初めの年として、行政や各種関係機関との連携を積極的に推進し、町内会の発展と地域住民のコミュニティと福祉の向上に向け活動してまいりたいと考えております。

宮城野区は、仙台駅から仙台港まで、商業地域、住宅地域、工業地域と地域により様々な特性を持つておられます。

平成十二年三月十一日には、仙石線が、地下化されたのをはじめ再開発事業、区画整理事業等により我々の生活も便利なものになつてしまりました。

しかし、その一方、地域の中での住民のつながりや住民相互の扶助・連帯が薄れがちであります。こうした中での地域コミュニティ形成は、任会長研修会」を開催いたしましたが、各町内会とも地域により様々な、あるいは同じような問題を抱えているようです。区連協として、これら

の問題の解決に少しでも役に立つことが、今後の活動の課題であると考えております。

新たな二十一世紀のまちづくりに向け、区連合町内会長協議会をはじめ、各界各層の英知を結集してすばらしく若林区の創造につとめて参りたいと考えております。

新たな二十一世紀のまちづくりに向け、区連合町内会長協議会をはじめ、各界各層の英知を結集してすばらしく若林区の創造につとめて参りたいと考えております。

新たな二十一世紀のまちづくりに向け、区連合町内会長協議会をはじめ、各界各層の英知を結集してすばらしく若林区の創造につとめて参りたいと考えております。

若林区は、各地域の中に卸商団地、中央卸売市場、農業園芸センターのほか歴史的価値の高い陸奥国分寺薬師堂や遠見塚古墳、そして自然に恵まれた貞山堀や荒浜海岸などを抱えています。

連坊、荒町、南材地区は、戦災からのがれた地域で、昔ながらの町並みが残されていますが、現代の車社会に対応した道路整備が、思うようには進まない状況にあります。

若林区域の三分の二を占める六郷、七郷地区は、都市農産物の供給のか、仙台南部・東部道路を活用した土地の高度利用が期待されます。

今後、行政とパートナーシップを図り協働のもと区役所周辺の道路の拡幅整備や東西線事業の推進、都市計画街路の整備など都心へのアクセス交通網の早期充実が若林区発展の基礎と考えます。

区連協といいたしましても、住民自治活動と住民福祉の増進に取り組み、行政と一緒にになって明るく住みやすいまちづくりに努力しているところであります。何よりも地域住民一人一人の温かい協力が必要であり、

町内会がコミュニティ活動の拠点として行政とのパートナーシップの継続を強めながら、地域の特色を生かしてまちづくりを進めていくことが、要求されております。

今後とも、各町内会との連携を

西暦二千年問題も、世界の人々の英知を結集して無事クリアし、新しい年を迎えることができました。

さて、太白区の特色である恵まれた自然と調和共生するまちづくりを、地域の皆様と共に推進してまいりましたが、今までの中心地として目覚ましい発展を遂げております。新しいショッピングプラザのオープンなど泉中央駅

を

万人になろうとしており、泉区は市北部の中心地として目覚ましい発展を遂げております。新しいショッピングプラザのオープンなど泉中央駅付近の集積メリットも充実しました。

仙台ドーム(愛称・シェルコムせん

仙台市は名実ともに百万都市となりましたが、区内人口も間もなく二十

年になろうとしており、泉区は市

北の中心地として目覚ましい発展

を

遂げております。新しいショッピ

ングプラザのオープンなど泉中央駅

付近の集積メリットも充実しました。

仙台ドーム(愛称・シェルコムせん

だい)の建設や区内市民センター、

コミュニティセンターの新築などハ

ード面の整備により区民の生活もます

ますはつらつとしてくるものと思わ

れます。

仙台ドーム(愛称・シェルコムせん

だい)の建設や区内市民センター、

コミュニティセンターの新築などハ

ード面の整備により区民の生活もます

